

R6 つつじヶ丘駅・柴崎駅周辺地区まちづくり方針策定に係るオープンハウス
実施結果

日時	場所	来場者数
3月20日(祝) 午前10時～午後1時	滝坂小学校	38人
午後4時～7時	柴崎駅北側事業用地	51人
3月21日(木) 午後4時～7時	柴崎駅北側事業用地	44人
3月26日(火) 午後4時～7時	つつじヶ丘駅北口1階エスカレーター脇	133人



総括

- ・両地区とも、まちづくりの動きに好意的な受け止めであると感じた
- ・今回のようなまちづくりに関するイベントの開催を今後も期待する声が多く聞かれた
- ・柴崎ではまちづくりの必要性を理解しつつも、今の雰囲気維持したいという意見があった(昔ながらの駅、商店街等)
- ・つつじヶ丘では買い物の不便さについて意見が多く寄せられた。またかつてのにぎわいを懐かしむ声があった
- ・連続立体交差事業については技術面での実現性について質問が寄せられた

その他の主な意見

踏切(連続立体交差事業)について	開かずの踏切が不便で危険
	なぜ今さら連立事業に向け動き出したのか知りたい
	本当に連続立体交差事業は実現可能なのか(技術的に)
道路について	清水架道橋が狭く危険
	つつじヶ丘駅までの道が狭い
	神代植物公園通り(バス通り)が狭い
	子どもの通学路が狭く危険なので改善してほしい
駅前の空間について	イベントができるようなスペースが欲しい
	ひと休みできる空間が欲しい
	子どもを遊ばせられる場所と買い物ができる商業施設が駅近くに欲しい
土地利用について	つつじヶ丘駅前の土地を有効活用してほしい
商業機能について	つつじヶ丘駅南側にスーパーがなく不便
	個性ある個人店がもっとあるとよい・残してほしい
個性を活かしたまちづくりについて	柴崎では音楽を活かしたまちづくりができないか
	つつじヶ丘駅は深大寺や植物公園の入り口なのでもっとアピールをすべき
	閑静な住環境を維持してほしい
	野川など自然が豊かで良い
その他	オープンハウスでまちづくりの動きを知れてよかった
	このような情報提供の機会をたくさん設けてほしい
	まちづくりが動き始めてうれしい
	地域の魅力を考え直すきっかけとなった
	このような活動をもっと知ってもらえるよう広報に力を入れるべき
	時間がかかると思うが頑張ってみてほしい